

文科省 支援学級設置の抑制がねらい

特別支援学級に在籍しながら、授業時数の半分以上を通常学級で受けている児童・生徒が半数以上に達していることが分かり、文科省は、是正を求める通知を出した。児童・生徒それぞれに応じた指導が必要であり、交流のみに重点を置いて通常学級で授業を受けるようにすることは不適切であるとしている。原則として週の授業時数の半分を目安として特別支援学級で授業を行うことなどを求めた。【「日本教育新聞」5月16日号より】

防衛費の増額より

教育費の増額を

文科省の「通知」内容

次のようなものです。

特別支援学級に在籍している児童生徒が、大半の時間を交流及び共同学習として通常の学級で学んでいる場合には、学びの場の変更を検討するべきであること。

言い換えれば、特別支援学級に在籍している児童生徒については、原則として週の授業時数の半分以上を目安として特別支援学級において…授業を行うこと。



問題点がたくさんあります

「特別支援学級及び通級による指導の適切な運用について」

□各校の判断です

支援の必要な子ども達に對して、どのような場、どのような支援を行うかは各学校が責任を持って判断することです。

行政（文科省）が在籍の適否や、教育内容まで介入

するのは、大問題です。

□単なる「交流」ではありません

「通知」は、支援学級の子どもが通常学級で学ぶことを、単なる「交流」としてしかとらえておらず、「教科等のねらいの達成」ができないと決めつけています。音楽、体育や理科の実験などは、大人数での授業の方が楽しく、教科のねらいにも到達します。

みんなで一緒に行うことで、協調性や社会性の伸長がはかられます。

□学校生活全てで支援しています

自立活動は、授業時間だけでなく、学校生活全般にわたって行うものとの理解



教育実践小ネタ②

【あると便利 A4サイズのカゴ】

整理が苦手な人におススメ。A4サイズのカゴには学校の書類がほとんど入ります。色違いに5つほどカゴを用意して、「学級関係」「職員会議関係」「配布物」「しめきり書類」などを分けて入れて重ねておけばスッキリしていて、すぐに取り出せます。ノートもカゴごと抱えて教室に持ち運べます。教室で子どもの提出物を入れるのにも便利です。

□指導時数でしかみていません

文科省は、自校に通級がないから「安易に」支援学級を設置しているかのようにとらえています。

通級指導教室と支援学級の役割や目的の違いを「指導時数」でしかとらえていません。

□機械的です

知的障がい学級の生徒が、通常学級で授業を受けることを一方的に問題視しています。機械的に「週の授業時数の

から、支援学級担任は、登校時、休み時間、給食、清掃、放課後の時間も支援・指導に当たっています。授業時数にのみに指導時間を矮小化しているのは問題です

半分以上を目安」と規定し、実態を見ていません。

防衛費倍増「5兆円」で何ができる「東京新聞」より

大学授業料の無償化	1.8兆円
児童手当の高校までの延長と所得制限撤廃	1兆円
小・中学校の給食無償化	4386億円